

1. 科目名 (単位数)	情報と職業 (2単位)	3. 科目番号	EDIT1302
2. 授業担当教員	清水 文也		
4. 授業形態	講義と演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	コンピュータやインターネットの利用は、現代の生活において必要不可欠である。それは、日常生活のみならず、ビジネス環境にも大きな変化をもたらしている。情報に関する学習において、コンピュータやネットワークの仕組みや操作を理解することも重要であるが、それらが社会やビジネスでどのように使われているのかを理解することも重要である。本講義では、情報化により、私たちの生活がどう変わったのか、また、どのようにビジネスに活用されているのかを、事例を通して考えていく。		
8. 学習目標	コンピュータやインターネットを活用することで、どんなビジネスが可能になったのかを理解して、情報社会で生きるための知識と考え方を身につけることが本講義の目標である。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	各回では、日本における情報技術と職業についての考察課題を、期末にはレポート課題を提出すること。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書 (購入必須)】 荒瀬光宏 著『1冊目に読みたい DXの教科書 (なるほど図解)』SBクリエイティブ、2022。</p> <p>【参考書 (購入推奨)】 野村総研 著『ITナビゲーター2023年版』東洋経済新報社、2022。 斎藤昌義 著『【図解】コレ1枚でわかる最新 ITトレンド』技術評論社、2022。 イノウエ 著『ITの仕事に就いたら最低限知っておきたい最新の常識』ソシム、2020。 楠木 建 著『好きなようにしてください たった一つの「仕事」の原則』ダイヤモンド社、2016。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業で扱う情報と職業に関する内容について理解しているか。 2. 分かりやすい表現方法や明瞭かつ論理的な文章で、自分の考えを述べられるか。 <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業への積極的参加、受講態度 30% 2. 授業ごとに課されるレポートや課題 70% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>本科目は選択科目ですが、日本における高等学校一種免許状 (情報) 取得のための必修科目でもあります。各産業で発展する新しい情報技術の、今後の可能性と課題及び関連する職業について深く考察して学んでいく科目となります。毎回、テーマについて教科書や資料を読み、受講生とディスカッションを行いますので、積極的な参加態度が求められます (行間を読み、仮説を立て、見解を書き、論述する)。期末には、レポート課題もありますので、情報科に限らず教員志望の学生には推奨しますが、単なる興味本位や本科目を一度落としている学生、また、空きコマを埋めるだけや単位取得だけが目当てだったり、GPAを上げるためだけなどの理由で受講する学生にとっては、厳しいカリキュラムになっていますので十分検討して選択してください。</p> <p>【受講上の注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を購入していない学生は受講を控えてください。購入は必須となります。 ・学生本人が“選択”する科目ですので、参加態度などが悪い場合は大幅な減点となります。 ・受講者数に応じて、講義内容や順番を調整・変更する場合があります。 		
13. オフィスアワー	初回に通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	日本における情報科教員の将来性 ・情報科教員採用の現状と大学入試科目「情報」 ・足りない情報科教員の「争奪戦」が激化 ・「大学入学共通テスト情報対策コース」が登場 ・「PCくらい誰でも教えられる」という勘違い	事前学習	情報科教員の現状について調査しておく。
		事後学習	講義内容について更に知見を深めるため、常時アンテナを張っておき、テーマに関する趨勢を捉え、自身の見解をもつ癖を付けておく。
第2回	成長市場の情報サービス産業 ・IT技術者不足の原因は「高収入」ではないから！ ・Society5.0超スマート社会について ・スマートシティ計画とは何か ・サイバー自衛官&サイバー捜査官という職業	事前学習	情報サービス産業について調査しておく。
		事後学習	講義内容について更に知見を深めるため、常時アンテナを張っておき、テーマに関する趨勢を捉え、自身の見解をもつ癖を付けておく。
第3回	デジタルトランスフォーメーション ・DXとは何か (IT化と何が違うのか) ・デジタル技術が人々の生活にもたらすものとは ・デジタルプラットフォームは全サービスの基盤 ・データドリブンによる意思決定	事前学習	教科書 pp. 14~44 を読んで学習しておく。
		事後学習	教科書 pp. 46~64 を読んで学習しておく。
第4回	デジタル後進国「日本」の現状 ・日本政府のデジタル政策と取り組み ・日本ではなぜDXが遅れているのか？ ・デジタル田園都市国家構想とは何か ・Web3で社会の変化が加速する	事前学習	教科書 pp. 66~98 を読んで学習しておく。
		事後学習	教科書 pp. 100~138 を読んで学習しておく。

第5回	日本の未来予測 2050年 ・仮想空間で生活する時代が訪れる ・未来に生き残る企業とは？ ・これからのDX人材の役割と必要なスキル ・日本の国際競争力低下の原因とは何か	事前学習	教科書 pp. 140～187 を読んで学習しておく。
		事後学習	DXに関連する事柄を整理しておく。
第6回	人工知能 (AI) の可能性と課題 ・人工知能とは何か (強いAI と弱いAI とは) ・フレーム問題とブラックボックス問題とは ・プレディクティブポリシング (犯罪予測警備) ・人工知能にフィジカルな顔や体は必要なのか？	事前学習	人工知能について調査しておく。
		事後学習	講義内容について更に知見を深めるため、常時アンテナを張っておき、テーマに関する趨勢を捉え、自身の見解をもつ癖を付けておく。
第7回	人工知能 (AI) がもたらすもの ・人工知能に対する様々な「誤解」 ・AI時代の『トロック問題 (功利主義的判断とは)』 ・日英伊「AI搭載第6世代戦闘機開発」の脅威 ・軍用AIの開発を命じられたらどうしますか？	事前学習	人工知能について調査しておく。
		事後学習	講義内容について更に知見を深めるため、常時アンテナを張っておき、テーマに関する趨勢を捉え、自身の見解をもつ癖を付けておく。
第8回	IoXの可能性と関連職業 ・IoX = Internet of X (X:Things, Humans) ・人体埋め込みチップと最先端ウェアラブル ・現状では画期的なアイデアは存在しないIoT ・ブレインテック (脳とコンピュータを接続)	事前学習	IoTについて調査しておく。
		事後学習	講義内容について更に知見を深めるため、常時アンテナを張っておき、テーマに関する趨勢を捉え、自身の見解をもつ癖を付けておく。
第9回	仮想空間で暮らすアバター ・「VR, AR, MR, SR」それぞれの技術について ・バーチャルオフィスで無駄な事務所家賃を削減 ・メタバースは「Second Life」の二の舞になるか？ ・デジタルツインの活用は既に始まっている	事前学習	仮想空間について調査しておく。
		事後学習	講義内容について更に知見を深めるため、常時アンテナを張っておき、テーマに関する趨勢を捉え、自身の見解をもつ癖を付けておく。
第10回	自動運転技術と遠隔操作技術 ・自動運転技術 (レベル) とは何か ・先進企業動向と次世代交通「MaaS」について ・コネクテッド車が走行中ハッキングされたら？ ・自動運転の「事故の責任」は誰にあるのか	事前学習	自動運転について調査しておく。
		事後学習	講義内容について更に知見を深めるため、常時アンテナを張っておき、テーマに関する趨勢を捉え、自身の見解をもつ癖を付けておく。
第11回	ロボット産業と関連職業 ・人工知能×教育分野 (AI先生の誕生) ・仮想的労働者 (RPA) とは ・ロボットとアンドロイドとジェミノイド ・人間よりロボットセラピストの方が心を開ける	事前学習	ロボットについて調査しておく。
		事後学習	講義内容について更に知見を深めるため、常時アンテナを張っておき、テーマに関する趨勢を捉え、自身の見解をもつ癖を付けておく。
第12回	eスポーツと関連職業 ・eスポーツは職業として成立するのか ・娯楽からプロスポーツ競技者へ ・ゲームのオンライン家庭教師も登場！ ・eスポーツ部を作りたいと相談されたら？	事前学習	eスポーツについて調査しておく。
		事後学習	講義内容について更に知見を深めるため、常時アンテナを張っておき、テーマに関する趨勢を捉え、自身の見解をもつ癖を付けておく。
第13回	ライブ配信か動画制作か ・ライブ配信者の職業としての可能性 ・YouTuberの職業としての可能性 ・子どもはなりたいたいのに親はなぜ反対するのか？ ・後期高齢者VTuber爆誕 (実年齢は85歳)	事前学習	ライブ配信について調査しておく。
		事後学習	講義内容について更に知見を深めるため、常時アンテナを張っておき、テーマに関する趨勢を捉え、自身の見解をもつ癖を付けておく。
第14回	起業と副業 ・私の『波乱万丈な起業体験記～社長は孤独～』 ・起業という選択肢 (新しいだけが起業ではない) ・個人投資家になれるクラウドファンディング ・誰でも簡単にネットショップが開設できる時代	事前学習	起業について調査しておく。
		事後学習	講義内容について更に知見を深めるため、常時アンテナを張っておき、テーマに関する趨勢を捉え、自身の見解をもつ癖を付けておく。
第15回	レポート課題 (題: 日本の学校・教育DXについて) 教科書を通読して基礎知識を備えた上で、「学校・教育DX」について調査する。調査結果について大学生である自身の見解と情報科教員としての目線で捉えた考察をレポートにする。	事前学習	学校・教育DXについて調査しておく。
		事後学習	期限までにレポート完成させ提出すること。